



VeriSign が IETF IDN スタンドアードのサポートを確定

Punycode マイグレーションを計画；
*i-Nav*TM プラグインで IDN スタンドアードの国際的採用をサポート；
中国語スクリプトの文字バリエーションに対処

2003 年 2 月 17 日バージニア州ダレス — 本日、デジタル・トラスト・サービスのリーディングプロバイダである VeriSign, Inc. (Nasdaq:VRSN) は、IETF (Internet Engineering Task Force) により正式に公表された折りには、同社の国際化ドメイン名 (IDN) プログラムが IDN スタンドアードをサポートすることを発表しました。VeriSign の IDN プログラムは、ブランドを代表するビジネスや Web をナビゲートするインターネット・ユーザーに対し、世界中どこでも英語以外の言語選択を可能にします。IDN スタンドアードの国際的採用をさらに促進するため、VeriSign は、*i-Nav*TM プラグインの能力を拡大して IDN スタンドアードに従う他のレジストリ・オペレータをサポートすることを発表しました。また、簡体ならびに繁体中国語スクリプトの文字バリエーションに対処する IDN プログラムの改善を発表しました。

2003 年 2 月 14 日、Internet Assigned Numbers Authority (IANA) は、IDNA (Internationalizing Domain Names in Applications) の RFC のプレフィックス・コンポーネント **xn** を発表しました。この新たな発展は、IETF の IDN スタンドアード発行への大きな進歩を示しています。VeriSign の IDN プログラムは現在、RFC の 1 つである Row-Based ASCII Compatible Encoding の初期ドラフト版からプレフィックスを使用しています。この初期ドラフト版から Punycode へのマイグレーションが必要になります。VeriSign では、発行された IDN スタンドアードをサポートする配備作業を 2003 年夏までに完了する予定です。また、90 万以上の名前を代表する IDN 認定レジストラとそのカスタマに対し、マイグレーション・アシスタント・プログラムを提供する計画です。配備はエンドユーザーにも分かりやすいことが必要です。

VeriSign's Global Registry Services Division のエグゼクティブ・バイスプレジデント兼ゼネラル・マネージャーであるラスティ・ルイスは、「最終的な IDN RFC へのマイグレーション、*i-Nav* プラグインでのサポート拡大、そして文字バリエーションのサポートは、いずれも VeriSign の IDN プログラムにとり重要なマイルストーンであると確信しています。VeriSign は、エンドユーザーにとってより良い IDN サービスを構築するため、ローカル投資家グループを含む幅広いインターネット・コミュニティと一貫して協力してきました。本日の発表とエンドユーザーの体験に関する最近の発表は、レジストラ

トとエンドユーザーが本当に求めている IDN 製品の提供に対し、VeriSign が継続的にコミットしていることを示しています。」と述べています。

IDN スタンドアートの国際的採用をさらに促進する目的で、VeriSign は IDN スタンドアートの従う他の gTLD と ccTLD IDN プログラムをサポートする i-Nav プラグインのアップグレード計画を発表しました。VeriSign では 2002 年後期に、JPRS の .jp および KRNIC の .kr IDN プログラムのサポートを発表しました。i-Nav プラグインでの他の gTLD および ccTLD のサポートについては、2003 年第 2 四半期に公開される予定です。

VeriSign は、現在、ドメイン名登録を販売するレジストラを世界各地に 100 以上持っています。多くは既に IDN 登録を活発に行っており、発行されたスタンドアートへの迅速な適応が予測されています。日本のリーディングインターネット会社であるグローバル・メディア・オンラインの技術責任者リチャード・リンゼイは、「VeriSign は多額の投資を行い、一貫して IDN 分野におけるリーダーシップを示してきました。グローバル・メディア・オンラインでは、非英語文字が極めて重要である日本のような国では特に IDN がドメイン名の急成長市場であるとの VeriSign の見方に同意しています。IETF スタンドアートをサポートする迅速なマイグレーションは IDN リーダーシップのもう一つの例であり、グローバル・メディア・オンラインでは、インターネットを世界のすべての人々に一層アクセシブルにするこの試みに参加できることを嬉しく思っています。」と述べています。

文字バリエーションは、異なる Unicode のコードポイントが同じ意味を共有するケースです。これらのバリエーションは簡体および繁体中国語スクリプトで発生し、こうしたスクリプトを使用した場合、エンドユーザーの混乱を招く可能性があります。例えば、ドメイン名を簡体中国語で入力した中国大陸のユーザーにはあるサイトが表示されるのに対し、台湾ユーザーが同一と考えるドメイン名を繁体中国語で入力すると別のサイトが表示されることがあります。VeriSign では IDN インフラをアップグレードし、簡体中国語と繁体中国語の間のこうした文字バリエーションに対処します。VeriSign は、China Network Information Center (.cn) および Taiwan Network Information Center (.tw) レジストリに使用されるアプローチを包含するアプローチを実施します。

バリエーションの問題に対処するにあたり、VeriSign ではこれまですべての関係グループと協議しており、今後とも協力を継続していきます。これらのグループには、上述のレジストリ、KRNIC (.kr)、JPRS (.jp)、CDNC (Chinese Domain Name Consortium)、および ICANN が設立した IDN Implementation Committee が含まれます。VeriSign では、他言語の文字バリエーションが識別された場合にはサポートを提供します。簡体および繁体中国語スクリプトに対する VeriSign の初期ソリューションは、2003 年 5 月までに実施される予定です。

IDN スタンドアート全体は、4 つの Requests for Comment (RFC) 、すなわち stringprep、IDNA、nameprep、Punycode に取り入れられます。stringprep をカバーする RFC 3454 は、2002 年 12 月に発行されました。IDNA、nameprep、および Punycode RFC は、RFC エディターによる最終編修プロセスにあります。VeriSign では、IDNA プレフィックスの発表後まもなく、IDNA RFC、nameprep RFC、および Punycode RFC が発行さ

れることを予測しています。4つの RFC すべての発行は、広範な IDN スタンダード実施の準備が整ったことを意味します。

IDN プログラムに関する VeriSign の最近の発表の詳細については、<http://www.verisign-grs.com/idn/> をご覧ください。

VeriSign について

VeriSign, Inc. は、誰もがどこでも信頼できる取引と通信を行うことを可能にするデジタル・トラスト・サービスのリーディングプロバイダです。VeriSign のデジタル・トラスト・サービスは、Web プレゼンス・サービス、セキュリティ・サービス、ペイメント・サービス、テレコミュニケーション・サービスの 4つのコア・オファリングを通じ、信頼できる環境を作り出します。1日当り 70億を超えるネットワーク接続とトランザクションを管理するグローバル・インフラでサポートされています。

グローバル・メディア・オンラインについて

グローバル・メディア・オンラインは 1991年に設立され、従業員数は 430名以上に及びます。インターネット・インフラと広告サービスを提供しています。

過去データと情報以外の本発表の記述は、1933年証券法セクション 27A および 1934年証券取引法セクション 21E に規定する将来予測に関する記述を構成します。これらの記述は、VeriSign の実績を将来予測に関する記述に表明または示唆されたものと大幅に異なるものとする可能性のあるリスクおよび不確実性を伴います。潜在的なリスクおよび不確実性には以下が含まれます：現在の事業構造における VeriSign の限られた事業経歴；VeriSign とその吸収事業が成功裡に統合されないリスクおよびかかる統合の予期せぬコスト；将来の収入と収益の不確実性および四半期事業実績の潜在的変動；統合会社による主要エグゼクティブ、技術担当者およびその他従業員の保持と雇用の失敗；統合会社による発展の失敗および地理的に分散したより大きな組織管理の困難性；統合会社によるカスタマ、サプライヤおよび戦略的カスタマ関係管理の失敗；ネットワーク停止、ネットワーク容量制約またはセキュリティ侵害；統合会社カスタマによる新規サービスの受け入れまたは統合会社の製品とサービスの継続的使用の失敗；および統合会社が対象とする各種市場における競争。同社事業および財務実績に影響する潜在的要素の詳細については、VeriSign の Securities and Exchange Commission 提出書類、特に 2001年 12月 31日期末の Annual Report on Form 10-K および Quarterly Reports on Form 10-Q に記載されています。VeriSign は、本プレスリリース発表日後に将来予測に関する記述を更新する義務を負うものではありません。VeriSign は、VeriSign, Inc. の登録商標です。他の名前は各所有者の商標です。

VeriSign は VeriSign, Inc. の登録商標です。他の名前は各所有者の商標です。

連絡先:

VeriSign メディアリレーションズ:

Christopher Parente, cparente@verisign.com +1 703-948-4241

GMO メディアリレーションズ:

Kanae Imada, kanae@gmo.jp, +81-3-5456-2555